

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第133回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第51回総会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿
- ◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

◇日本惑星科学会第133回運営委員会議事録

日 時：2019年5月26日(日)18：30-20：50
 場 所：日本地球惑星科学連合2019年大会会場
 幕張メッセ国際会議場301A
 (千葉県美浜区中瀬2-1)

運営委員会委員：

出席者 19名

中本 泰史, 中村 昭子, 倉本 圭, 諸田 智克, 関根 康人, 玄田 英典, 中村 智樹, 中島 健介, 寺田 直樹,
 田中 秀和, 竹広 真一, 小林 浩, 白井 寛裕, 奥住 聡, 荒川 政彦, 北里 宏平, 佐伯 和人, 関 華奈子,
 平田 成, 藪田 ひかる

欠席者 3名(委任状：議長2通)

和田 浩二, 田近 英一, 渡部 潤一

オブザーバー：

田中 智(学会賞選考委員長)

濱野 景子(連合大会プログラム委員)

出村 裕英(月惑星探査アーカイブサイエンス拠点)

議題・報告事項：

委員自己紹介

第15期運営委員会の初顔合わせ。自己紹介を行なった。

1. 月惑星探査アーカイブサイエンス拠点の説明(出村会員)

文科省共同利用・共同研究拠点に公立大学法人会津大学ARC-Spaceの月惑星探査アーカイブサイエンス拠点が採択されたことが報告された。附置研として設置される。ARC-Spaceメンバーを中心とし、アーカイブサイエンスを担う。今後、公募事業・研究集会の案内がされることが報告された。

2. 連合大会プログラム委員からの報告(濱野連合大会プログラム委員)

来年度の惑星科学セッションコンピーナは仲内悠祐会員，嵩由美子会員，プログラム委員に(主)堀安範会員，(副)田中佑希会員が推薦され承認された。

3. 会計第14期下期決算(竹広財務専門委員)

第14期下期決算報告があった。一般会計の予算額は約71万円の赤字であったが結果的に、約24万の赤字で抑えられた。EPS分担金増額の予備費としていた28万円が不要となったことが主な要因。遊星人のページ数が増えたため印刷費が予算額よりも約30万増であったが、数年前の印刷費と同程度。

4. 会計第15期上期予算執行状況報告(佐伯財務専門委員長)

収入支出ともに予算案どおり進んでいる。寄付金があり、発表賞に使用予定。

5. 第14期下期活動報告ならびに第15期上期活動計画(北里総務専門委員長)

第14期下期活動報告，第15期上期活動計画について説明があった。

6. 入退会について(北里総務専門委員長)

昨年の同時期と比較して、会員数に大きな変動はないが、正会員一般からシニア会員への移行が18名あった。

7. 学会賞選考委員の入れ替え(北里総務専門委員長)

現委員のはしもとじょーじ会員，上相真之会員，黒澤耕介会員，脇田茂会員に加え，諸田智克会員，浦川聖太郎会員，野村英子会員，藤谷渉会員が推薦され，承認された。

8. その他総務からの案件(議長・書記の承認等)(北里総務専門委員長)

総会の議長と書記に佐々木貴教会員，岡本尚也会員がそれぞれ推薦され，承認された。

9. 2018年度最優秀研究者賞について(田中学生会賞選考委員長)

選考の経緯と受賞者の説明があった。まず応募者7名から2名に絞った。投票の結果，同票となり，黒川宏之会員と瀧川晶会員の2名が推薦され認められた。

10. 2019年秋季講演会・学会賞実施案(竹広2019年秋季講演会組織委員)

秋季講演会の説明があった。会期は10月7日から9日。組織委員長は河北秀世会員。京都産業大学と京都大学の連合で組織する。会場は京都産業大学(上賀茂キャンパス)。主会場は神山ホールで約1200名収容可能。

11. 2020年秋季講演会について(平田2020年秋季講演会組織委員)

会津大でLOCを担当する。2020年9月23日-25日か2020年9月16日-18日を検討中。他学会の講演会予定，各大学の主イベント日程を調査する。

12. 広報専門委員会の設置について(中本会長)

新委員会の設置の提案があった。主な仕事はホームページの充実，外部からの問い合わせ対応。現状，ホームページは主に情報化専門委員会，総務専門委員会が分担して管理している。

まずは総務専門委員会の下に広報専門委員会設立準備作業部会を設置し，情報化専門委員会とともに作業内容を具体化することが提案され，承認された。部会長に奥住聡委員，委員に黒澤耕介会員，黒川宏之会員，

鎌田俊一会員が推薦され、承認された。

13. RFI改定について(寺田RFI回答文書改訂2018作業部会長)

2018年改訂版について、改定作業の経緯の報告があった。今後も毎年改定する予定であり、透明性の高い手順で進める方針であることが説明された。主査は会長経験者に2年担当していただくことにしたいとの提案があり、承認された。2019年改訂版については、2019年10月6日(秋季講演会前日)に検討会を開催予定で、2019年12月末に完成を目指す。

負荷軽減のために、学生アルバイトの雇用の提案があった。主な作業内容は改定原稿のバージョン管理、作業メンバーのリスト作成やメーリングリスト作成管理、原稿のチェックなど。2019年度は9-12月までの4ヶ月間に月3万円程度を予定。2019年度は会長預かりの事務補助費として計上し、必要な金額が具体化される時期に申請を予定。以上、異論なく承認された。

14. 日本地球惑星科学連合の報告(中本会長、倉本副会長)

来年度、AGUと共催を予定。EPSと共同で申請していたPEPS出版のための科研費が採択された。

15. 遊星人の発行状況報告(和田編集専門委員長、代読：北里総務専門委員長)

つつがなく発行されている。遊星人記事の転載許可手続きについて行事部会と共同で案を練っている。

16. 科研費採択とEPS新賞設立の報告(玄田欧文誌専門委員長)

PEPSと共同で科研費を申請し、無事に採択された。2/3をPEPS、1/3をEPSの分担とする。新賞設立を予定しており、重要なデータ、標準モデルを提案する論文を対象とする。

◇日本惑星科学会第51回総会議事録

日 時：2019年5月27日(月)12:30-13:30

場 所：日本地球惑星科学連合2019年大会会場 東京ベイ幕張ホールA01

(〒261-0021 千葉県千葉市美浜区ひび野2-3)

正 会 員：575

定 足 数：58

参加人数：48名(開会直前)、63名(議事3.1採択時)、64名(議事3.2採択時)

委 任 状：66通

議長 64通

はしもとじょーじ会員 1通

佐々木 晶会員 1通

1. 開会宣言

北里総務専門委員長が開会を宣言。

2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に佐々木貴教会員、書記に岡本尚也会員が選出された。

3. 議 事

3.1 第14期下期(2018年度)活動報告

- ・基調報告(中本会長)

事業概要, 学会員数, 連合大会概要, 秋季講演会概要, 学会誌の発行状況, 欧文誌の発行状況, 学会賞受賞者, フロンティアセミナー概要, 惑星探査データ解析実習会概要, 学会運営について説明がなされた。

- ・会計報告(竹広財務専門委員)

第14期下期の決算について報告された。当期収支差額は-238,427円の赤字。当初は-71万円の赤字予算だったが、EPS関連の予備費が必要なくなったことと秋季講演会の余剰金が入ったことから、圧縮されて-23万円に収まった。学会誌の出版費(ページ数)が数年前のレベルに戻った。

- ・会計監査報告(門野会計監事)

収支決済に誤りがないことを確認したとの報告がなされた。

- ・各種専門委員会報告

なし

- ・2018年度最優秀研究者受賞者発表(田中学会賞選考委員長)

黒川宏之会員と瀧川晶会員の両名が受賞されたとの報告がなされた。

- ・質疑応答及び討論

なし

- ・採択

第14期下期活動報告の採択が行われ、賛成：129(うち出席者63)、反対：0、保留：0により採択された。

3.2 第15期上期(2019年度)活動方針

- ・基本方針(中本会長)

事業概要, 秋季講演会予定, 学会賞選考について説明がなされた。

- ・各種専門委員会活動方針

佐伯財務専門委員長より、第15期上期の会計中間報告がなされた。収入支出ともほぼ予算案通り進行している。今年度も寄付金(5万円)を頂いた。発表賞の賞金に使用する。

- ・質疑応答

なし

- ・採択

第15期上期活動方針の採択が行われ、賛成：130(うち出席者64)、反対：0、保留：0により採択された。

4. 報告事項

4.1 2019年秋季講演会について(竹広2019年秋季講演会組織委員)

日程, 場所, LOCメンバー, 発表資格, 口頭付きポスター発表, 保育室, スケジュール等について説明がなされた. 宿の手配はお早めに.

4.2 その他

- ・RFI回答文書の改訂について(寺田RFI回答文書改訂2018作業部会委員長)

2018年改訂版の公開と2019年改訂作業の着手について報告がなされた.

2018年改訂版を5月22日に学会ウェブサイトで公開した.

2019年改訂作業の主査は倉本圭会員.

秋季講演会前日(10月6日)に検討会を京都駅前で開催予定.

- ・フロンティアセミナー 2019について(はしもとじょーじ会員)

日程, 場所, 講師について説明がなされた.

- ・月惑星探査アーカイブサイエンス拠点について(出村裕英会員)

会津大学ARC-Spaceが惑星科学会を母体となる学協会として, 文科省共同利用・共同研究拠点に採択されたとの報告がなされた.

5. 議長団解任

6. 閉会宣言

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2019年9月25日までに, 賛助会員として本学会にご協力下さった団体は以下の通りです. 社名等を掲載し, 敬意と感謝の意を表します. (五十音順)

Harris Geospatial株式会社
株式会社ナックイメージテクノロジー

◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

(a)場所, (b)主催者, (c)ウェブページ/連絡先など.

転記ミス, 原稿作成後に変更等があるかもしれません. 各自でご確認ください.

2019/10

10/7-9 日本惑星科学会 秋季講演会

(a)京都府京都市

(b)日本惑星科学会

(c)<https://www.wakusei.jp/meetings/fallmeeting/2019/>

10/23-25 第60回高圧討論会

(a)北海道札幌市

(b)日本高圧力学会

(c)<http://highpressure.jp/new/60forum/index.html>

2019/11

11/6-8 第63回宇宙科学技術連合講演会

(a)徳島県徳島市

(b)日本航空宇宙学会

(c)<https://branch.jsass.or.jp/ukaren63/>